科目ナンバリング			
授業科目名 <英訳>	フランス語IIA F2103 Intermediate French A	担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 林　信蔵

群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ
授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	月2	配当学年	2回生以上
対象学生	全学向				

[授業の概要・目的]

〈フランス文化〉
本講義では、小説、脚本、詩などの文学作品、芸術家の書簡、評論文、フランス語に翻訳された日本語の文章、歴史や社会問題・時事問題に関する文章など、フランス語で執筆された多様なジャンルの文章の読解を通じて、フランスの文化・社会に関して学ぶとともに、その文化の成り立ちと深い関わりを持つフランス語の特徴についても認識を深めることを目的とする。また、発音や文法など初級で学んだ事柄を復習する機会を提供する。

[到達目標]

・フランス語の文章を規則に従って正しく発音できる。
・構文を理解した上でフランス語の文章を理解できる。
・フランス文化・社会の多様性について認識を深める。

[授業計画と内容]

・イントロダクション
最初の授業において、発音についての復習を行う。受講者は、フランス語の規則に基づいて発音できるようにする。また、視聴覚資料を用いてフランスの文化について紹介する機会を持つ。

・通常の授業内容
　前期の授業では、文学作品、脚本、評論文、フランスの歴史、新聞・雑誌掲載記事、仏訳された文章などの中から５ないし６種類の文章を取り上げる（ただし、授業の進度に応じて取り上げる文章の数は変化することもある）。

　受講者は、毎回授業範囲を予習することが求められる。授業において指名された受講者は、文章をフランス語で読み上げ訳す。その際に、発音に間違いが多い、予習が不十分と判断される場合、平常点から減点する。

　また、各授業の初めには、前回の授業内容に関して、発音、文法事項、文章理解度などを問う小テストを行う。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

平常点は、出席状況・発音点・予習点を含めた30%とする（授業に欠席すると1回分の平常点は0点となる）。また、小テストの結果を10%、期末テストの結果を60%として計算し、成績を算出する。

フランス語IIA F2103(2)へ続く↓↓↓

フランス語IIA F2103(2)

[教科書]

授業においてプリントで配布する。

[参考書等]

（参考書）
京都大学フランス語教室編『新初等フランス語教本《文法編》』（白水社）ISBN:9784560060919
イントロダクションにおいて持参できることが望ましい

[授業外学修（予習・復習）等]

授業の前に予習し、予習範囲の文章を訳し発音できるようにしておくこと、また、前回授業の内容を復習し、小テストの準備をすることが受講生には求められる。

[その他（オフィスアワー等）]